

令和4年度 都城市立志和池中学校 学校関係者評価票

評価項目	評価指標	学校の現状と分析	自己評価	学校の改善策	外部評価コメント	外部評価
知(学習)	(1) (生徒)先生方は基本的な学習に対する取り組み方や態度などを指導してくれますか。 (保護者)学校は生徒に対して基本的な学習意欲の指導ができていますか。 (教師)学校は生徒に対して基本的な学習意欲や学習態度育成の指導ができていますか。	○ 基本的な学習態度は、ほとんどの生徒が定着しており、落ち着いた態度で授業に臨んでいるが、生徒に比べて保護者の評価が低いのは、家庭学習の習慣が定着していない生徒がいるからだと思う。 ○ ICT機器を利用した授業については、ほとんどの生徒が興味・関心をもって授業に臨んでいることが分かる。教師は、タブレットなどのICT機器を使って授業を進めることが得意な者やそうでない者がいるため、教科によって生徒の授業への集中力に差があるようである。 ○ 学力の向上については、保護者の評価は、期待以上の評価は低い。実力テストの結果などが、テストによって定まっている時とそうでない時の差が大きいためからだと考えられる。	3	○ 落ち着いた授業に集中できる学習環境および学習態度が育成されているが、学年での学力の差が大きい。学力が伸び悩んでいる学年は、高い学力をもつ学年の学習状況を参考に学習に取り組みさせる必要がある。 ○ 授業力向上に一貫として、互いの授業を参観し、気付いたことを指摘しあい、授業力の向上を図りたい。 ○ 参観日で保護者に授業を観てもらう機会で、誰もが興味を持ち、分かる授業を展開し、保護者の信頼を得る必要がある。 ○ ICT機器の使用については、職員の中でも差があり、タブレットを利用して生徒と授業を創りあげることが得意な職員と、中々うまくいかず、苦手としている職員もいる。本年度からICT支援員も配置されたため、自分が、どのICT機器を使って、どんな授業を展開したいのか、積極的に聞けるようにしたい。 ○ ICT機器を活用し、生徒に興味・関心をもたせるだけでなく、黒板の板書の工夫や、生徒の学力に応じた課題を出すなどを行い、学力の向上を図る。	・コロナ・インフルエンザなど、感染症が流行する状況でタブレットやインターネットなど、ICT技術の活用が重要となってきていると思います。先生方も大変かと思いますが新しい技術を活用して生徒・保護者と一緒に学力向上に頑張ってください。 ・学力向上は保護者の切なる願いであり、家庭学習の習慣化を望みたい。 ・ICT機器の使用については、学校側の指導にお任せする以外なく、先生方の指導力向上に期待したい。 ・学校行事や練習などがテスト期間と近い時もあり、疲労感や集中力の低下も影響していると思います。テストの結果がむらがないように取り組んで欲しいです。	3.2
	(2) (生徒)先生方は、ICT機器を利用して、分かりやすい授業を展開してくれていますか。 (保護者)学校は、生徒に学習内容を定着させ学力の向上を図ることができていますか。 (教師)学校はICT機器を活用することで、生徒に興味・関心をもって学習に取り組まれていますか。	○ 95%の生徒が3と4の評価をしており、全てのアンケートの項目で、最も自己評価の高い質問だった。生徒が高い評価をつけたのには、月に1回ある、「命について考える日」の取組や、毎週必ず道徳の授業を実践し、教師が生徒の実態にあった資料を使っており、学校生活の中で命を大切にすること、思いやりの心を持つことの重要性を常に生徒に考えさせるようにしているからだと思う。 ○ 生徒に比べて、保護者の評価が低いのは、家庭での子どもの言動が、思いやりにかけると思うからだと考えられる。 ○ お互いを認め合う充実した学校生活を送るという質問も、約50%の生徒が4の評価をつけており、全体評価も非常に高い。生徒のコメントでは、「お互いを認め合う言葉はあまりかけていない」というコメントもみられているので、この質問に対しては「学校生活が充実している」という生徒が多いと考えられる。	3	○ SSWやSCと連携等専門機関との連携による不登校生への働きかけを積極的に行っていく。 ○ 「命について考える日」の取組を継続して行い、生徒が「限りある命」ということについて真剣に考える機会を活用し、思いやりの心を育てる。 ○ ティーラティブ(生活の記録)で、悩みや不安を書いた生徒には、細めに声をかけて、いつでも相談できる体制をとる。 ○ 学活や道徳の話合い活動などで、互いの意見を認め、更に具体的な助言などをする関係性を築き上げる。 ○ 生徒理解の研修を設定し、気になる生徒の現状を全職員で把握し、誰でも対応できる体制をつくる。 ○ 生徒の自己肯定感を高めるために、一つ一つの行動を否定するのではなく、肯定的に受け止め、助言をあたえ、生徒が何でも話せるような関係性を築く。	・虐待の報道が多くされていますが「他人への敬意」や「命の大切さ」など学校教育において「心の教育」の大切さをより一層感じています。 ・不登校気味の生徒や遅刻気味の生徒を散見する。思いやりの心の育成、相談体制の充実を図って欲しい。 ・コロナで生徒同士の人間関係が希薄になりがちだと考えられる。このような体験は今までもなく、学校側も大変だと思いますが、ご指導をよろしくお願ひします。 ・「命について考える日」の取組は素晴らしいと思います。思いやりの心、感謝する心などを育んでほしいです。	3.6
徳(心の教育)	(3) (生徒)あなたは、命を大切に、思いやりの心が育っていますか。 (保護者)学校は生徒に思いやりの心が育っていますか。	○ 95%の生徒が3と4の評価をしており、全てのアンケートの項目で、最も自己評価の高い質問だった。生徒が高い評価をつけたのには、月に1回ある、「命について考える日」の取組や、毎週必ず道徳の授業を実践し、教師が生徒の実態にあった資料を使っており、学校生活の中で命を大切にすること、思いやりの心を持つことの重要性を常に生徒に考えさせるようにしているからだと思う。 ○ 生徒に比べて、保護者の評価が低いのは、家庭での子どもの言動が、思いやりにかけると思うからだと考えられる。 ○ お互いを認め合う充実した学校生活を送るという質問も、約50%の生徒が4の評価をつけており、全体評価も非常に高い。生徒のコメントでは、「お互いを認め合う言葉はあまりかけていない」というコメントもみられているので、この質問に対しては「学校生活が充実している」という生徒が多いと考えられる。	3	○ SSWやSCと連携等専門機関との連携による不登校生への働きかけを積極的に行っていく。 ○ 「命について考える日」の取組を継続して行い、生徒が「限りある命」ということについて真剣に考える機会を活用し、思いやりの心を育てる。 ○ ティーラティブ(生活の記録)で、悩みや不安を書いた生徒には、細めに声をかけて、いつでも相談できる体制をとる。 ○ 学活や道徳の話合い活動などで、互いの意見を認め、更に具体的な助言などをする関係性を築き上げる。 ○ 生徒理解の研修を設定し、気になる生徒の現状を全職員で把握し、誰でも対応できる体制をつくる。 ○ 生徒の自己肯定感を高めるために、一つ一つの行動を否定するのではなく、肯定的に受け止め、助言をあたえ、生徒が何でも話せるような関係性を築く。	・虐待の報道が多くされていますが「他人への敬意」や「命の大切さ」など学校教育において「心の教育」の大切さをより一層感じています。 ・不登校気味の生徒や遅刻気味の生徒を散見する。思いやりの心の育成、相談体制の充実を図って欲しい。 ・コロナで生徒同士の人間関係が希薄になりがちだと考えられる。このような体験は今までもなく、学校側も大変だと思いますが、ご指導をよろしくお願ひします。 ・「命について考える日」の取組は素晴らしいと思います。思いやりの心、感謝する心などを育んでほしいです。	3.6
	(4) (生徒)あなたは、互いに認め合う言葉かけしながら、望ましい人間関係が築けていますか。 (保護者)学校は、一人一人が、充実した学校生活を送れていますか。	○ 生徒、保護者の90%以上が4と3の評価をしている。学校の中で、大きな怪我や事故もなく、落ち着いた学校生活を生徒が送っているからだと考えられる。 ○ 「体を動かす」という項目で高い評価をしていた生徒の多くが「部活動で体力を向上させている」と考えている。昼休み等で、グラウンドで遊ぶことは体力向上とあまり関係ないと考えているようだ。 ○ 教師は「食への感謝」ということで、高い評価をつけているのは、残菜がほとんどなく、男女ともにしっかりと給食を食べていることが考えられる。	3	○ 感染症予防の生活の習慣化を目指した健康指導を継続して行っていく。 ○ 安全教育の企画・立案を推進していくとともに、安全点検及び安全な生活の指導を徹底させたい。 ○ ほとんどの生徒が真剣な態度で体育の授業にのぞみ、体力の向上を図っている。駅伝ロードレース大会も自分の力を最大限出し切っている。今後も継続して行っていく。 ○ 弁当の日を今後も継続して行い、食への知識を深めさせ、自身の健康と食の結びつきについて考えさせたい。	・部活も色々制約のある状況で大変かと思いますが頑張ってください。中学校でも地元の食材を使った「食育」など食への関心を育てることも大切だと思います。 ・元気に活動している姿を見て、こちらでも元気をもらっている気がする。”元氣なあいさつ”ぶりも気持ちが良いです。 ・食については、親もだいたい気を付けているように思う。 ・部活に熱心に取り組まれている良い成績を修めているので継続的に取り組んで欲しいです。	3.6
体(体力の向上)	(5) (生徒)学校生活を通じて、健康で安全な生活を送る態度が身に付いていますか。 (保護者・教師)生徒は学校生活を通じて、健康で安全な生活を送る態度が身に付いていますか。	○ 生徒、保護者の90%以上が4と3の評価をしている。学校の中で、大きな怪我や事故もなく、落ち着いた学校生活を生徒が送っているからだと考えられる。 ○ 「体を動かす」という項目で高い評価をしていた生徒の多くが「部活動で体力を向上させている」と考えている。昼休み等で、グラウンドで遊ぶことは体力向上とあまり関係ないと考えているようだ。 ○ 教師は「食への感謝」ということで、高い評価をつけているのは、残菜がほとんどなく、男女ともにしっかりと給食を食べていることが考えられる。	3	○ 感染症予防の生活の習慣化を目指した健康指導を継続して行っていく。 ○ 安全教育の企画・立案を推進していくとともに、安全点検及び安全な生活の指導を徹底させたい。 ○ ほとんどの生徒が真剣な態度で体育の授業にのぞみ、体力の向上を図っている。駅伝ロードレース大会も自分の力を最大限出し切っている。今後も継続して行っていく。 ○ 弁当の日を今後も継続して行い、食への知識を深めさせ、自身の健康と食の結びつきについて考えさせたい。	・部活も色々制約のある状況で大変かと思いますが頑張ってください。中学校でも地元の食材を使った「食育」など食への関心を育てることも大切だと思います。 ・元気に活動している姿を見て、こちらでも元気をもらっている気がする。”元氣なあいさつ”ぶりも気持ちが良いです。 ・食については、親もだいたい気を付けているように思う。 ・部活に熱心に取り組まれている良い成績を修めているので継続的に取り組んで欲しいです。	3.6
	(6) (生徒)学校では積極的に体を動かす、体力の向上に努めていますか。 (保護者)生徒は学校生活を通じて、体力(運動面・健康面)の向上がみられましたか。 (教師)生徒は食に感謝する心を持ち、自身の健康に対して意識を高く持つことができ	○ 生徒、保護者の90%以上が4と3の評価をしている。学校の中で、大きな怪我や事故もなく、落ち着いた学校生活を生徒が送っているからだと考えられる。 ○ 「体を動かす」という項目で高い評価をしていた生徒の多くが「部活動で体力を向上させている」と考えている。昼休み等で、グラウンドで遊ぶことは体力向上とあまり関係ないと考えているようだ。 ○ 教師は「食への感謝」ということで、高い評価をつけているのは、残菜がほとんどなく、男女ともにしっかりと給食を食べていることが考えられる。	3	○ 感染症予防の生活の習慣化を目指した健康指導を継続して行っていく。 ○ 安全教育の企画・立案を推進していくとともに、安全点検及び安全な生活の指導を徹底させたい。 ○ ほとんどの生徒が真剣な態度で体育の授業にのぞみ、体力の向上を図っている。駅伝ロードレース大会も自分の力を最大限出し切っている。今後も継続して行っていく。 ○ 弁当の日を今後も継続して行い、食への知識を深めさせ、自身の健康と食の結びつきについて考えさせたい。	・部活も色々制約のある状況で大変かと思いますが頑張ってください。中学校でも地元の食材を使った「食育」など食への関心を育てることも大切だと思います。 ・元気に活動している姿を見て、こちらでも元気をもらっている気がする。”元氣なあいさつ”ぶりも気持ちが良いです。 ・食については、親もだいたい気を付けているように思う。 ・部活に熱心に取り組まれている良い成績を修めているので継続的に取り組んで欲しいです。	3.6
保護者・地域との連携	(7) (保・教)学校は保護者や地域社会への情報発信を積極的に推進していますか。 (生)あなたは家庭で保護者に学校の提出物を選んだり、学校のことを話していますか。	○ 学校からの連絡を必ず見せていますか。生徒評価は学年によって最も差が出た項目で、「親に言われたいと出さない」と答えた生徒が多かった。 ○ 保護者の評価も生徒とほぼ同じような結果になっていることから、親に言われて学校の連絡を見せるという形が多いと考えられる。 ○ 地域の方々や学校の行事への参加については、コロナ禍で学校行事が縮小されていることから他の項目と比較すると高評価は得られていない。しかし、1年生がゲストティーチャーを招いて地域の歴史を勉強したり、2年生が地区の事業所を訪ねて職業調査を行うなど、地域と連携した取り組みはある。前述の「学校からの連絡」であるように、学校であったことが確実に保護者に伝えられていないことが原因だと考えられる。	3	○ ほとんどの学級で学級通信を毎週出しているが、保護者に渡していない生徒が多い。1年生のあるクラスが12月から通信をシグファイで家庭に送るという取り組みを行っている。データで配信すれば、写真もカラーで送れるし、確実に保護者に伝わるのでとても興味深い取り組みだと思う。 ○ 学校のことを家で自ら話す生徒は少ない。特に男の子は口数も少なくなるので、親は中々学校の情報を手に入れにくい。学校便りやHPでもっとこまめに生徒の情報を発信していく必要がある。HPの閲覧数は都城の中学校で最も少ないが、終学旅行から見る人が増えてきて、現在は一日100人以上の人が見てくれている。 ○ 地域住民の方をゲストティーチャーに招くなど、積極的に外部指導者の方に来ていただいたのだが、このような活動があまり周知されていない現状があるので、学校便りやHPで、その都度紹介していきたい。 ○ コロナ禍であり、地域の行事も制限されているのが現状だが、少しずつ行事も再開されているので、積極的に生徒に参加をよびかけていきたい。	・地域行事の開催が難しい状況ではありますが、地域住民との情報共有方法の在り方を色々工夫していければと思います。 ・地域でも「読み聞かせ」活動を20年以上続けており、読書意欲や聞く態度など効果があったのではないかと考えている。 ・学校側も年一回ぐらい見回りをしたらどうだろうか。 ・ネットやデータ通信を積極的に活用して欲しい。保護者も強く望んでいる事でもあるペーパーレス化にもつながるので力をもって欲しい。	3.4
	(8) (保・教)学校は学校行事への参加呼びかけと地域住民の人材を積極的に活用していますか。 (生)あなたは地域住民の方にあそびたり、地域の活動に参加するなど地域の方とのふれあいがありますか。	○ 学校からの連絡を必ず見せていますか。生徒評価は学年によって最も差が出た項目で、「親に言われたいと出さない」と答えた生徒が多かった。 ○ 保護者の評価も生徒とほぼ同じような結果になっていることから、親に言われて学校の連絡を見せるという形が多いと考えられる。 ○ 地域の方々や学校の行事への参加については、コロナ禍で学校行事が縮小されていることから他の項目と比較すると高評価は得られていない。しかし、1年生がゲストティーチャーを招いて地域の歴史を勉強したり、2年生が地区の事業所を訪ねて職業調査を行うなど、地域と連携した取り組みはある。前述の「学校からの連絡」であるように、学校であったことが確実に保護者に伝えられていないことが原因だと考えられる。	3	○ ほとんどの学級で学級通信を毎週出しているが、保護者に渡していない生徒が多い。1年生のあるクラスが12月から通信をシグファイで家庭に送るという取り組みを行っている。データで配信すれば、写真もカラーで送れるし、確実に保護者に伝わるのでとても興味深い取り組みだと思う。 ○ 学校のことを家で自ら話す生徒は少ない。特に男の子は口数も少なくなるので、親は中々学校の情報を手に入れにくい。学校便りやHPでもっとこまめに生徒の情報を発信していく必要がある。HPの閲覧数は都城の中学校で最も少ないが、終学旅行から見る人が増えてきて、現在は一日100人以上の人が見てくれている。 ○ 地域住民の方をゲストティーチャーに招くなど、積極的に外部指導者の方に来ていただいたのだが、このような活動があまり周知されていない現状があるので、学校便りやHPで、その都度紹介していきたい。 ○ コロナ禍であり、地域の行事も制限されているのが現状だが、少しずつ行事も再開されているので、積極的に生徒に参加をよびかけていきたい。	・地域行事の開催が難しい状況ではありますが、地域住民との情報共有方法の在り方を色々工夫していければと思います。 ・地域でも「読み聞かせ」活動を20年以上続けており、読書意欲や聞く態度など効果があったのではないかと考えている。 ・学校側も年一回ぐらい見回りをしたらどうだろうか。 ・ネットやデータ通信を積極的に活用して欲しい。保護者も強く望んでいる事でもあるペーパーレス化にもつながるので力をもって欲しい。	3.4
学校生活	(9) (生徒)先生方は、あなたのことを理解し、きめ細やかな指導をしてくれますか。 (保護者)学校は生徒のことを理解し、きめ細やかな指導ができていますか。	○ 生徒の半分以上が「先生は自分のことを理解し、きめ細やかな指導をしてくれている」と評価しているが、教師と保護者は15%と同じ評価になっている。まだまだきめ細やかな指導が足りない、子どもに対する理解が乏しいと考えている者が多い。 ○ 服装や身だしなみについては、生徒は「できています」と評価しているのに対して、教師の評価が低い。制服の着方等については、問題のある生徒は少ないようだが、髪型について、改善を要する生徒がいるように思える。しかし、服装容疑検査等は行っているはずだが、徹底していない。	3	○ 非常に高い評価をもらっている項目なので、今後も今以上に生徒や保護者のために貢献できる教師であるために、情報交換を密に行い、問題やトラブルには、一人に対処せずに、学年や分掌部で連携して問題解決にあたる。 ○ 学校に対して批判的な意見を持つ保護者も存在するが、批判的な意見にも反論するのではなく、まずは話をしっかり聞き、誠意をもって話すことを心がけたい。	・不登校・気になる生徒など、難しい問題ではありますが、保護者とも連携して、これからもよい方向に取り組みを進めて頂ければと思います。 ・長年、志和池中近くに住み、生徒たちの様子を見ているが、特に問題になるような事例にはあわなかつた。 ・生徒たちの健やかな成長を温かく見守ってきたいと思っています。 ・身だしなみやあいさつなどとても良くできていると思う。引き続き指導してもらいたい。不登校については踏み込んでいけないうちの難しい部分もあるが徹底して対策して欲しい。	3.2
	(10) (生徒)あなたは、挨拶や服装・髪型などの基本的な生活習慣を身に付けていますか。 (保護者)生徒は、挨拶や服装・髪型などの基本的な生活習慣を身に付けていますか。	○ 生徒の半分以上が「先生は自分のことを理解し、きめ細やかな指導をしてくれている」と評価しているが、教師と保護者は15%と同じ評価になっている。まだまだきめ細やかな指導が足りない、子どもに対する理解が乏しいと考えている者が多い。 ○ 服装や身だしなみについては、生徒は「できています」と評価しているのに対して、教師の評価が低い。制服の着方等については、問題のある生徒は少ないようだが、髪型について、改善を要する生徒がいるように思える。しかし、服装容疑検査等は行っているはずだが、徹底していない。	3	○ 非常に高い評価をもらっている項目なので、今後も今以上に生徒や保護者のために貢献できる教師であるために、情報交換を密に行い、問題やトラブルには、一人に対処せずに、学年や分掌部で連携して問題解決にあたる。 ○ 学校に対して批判的な意見を持つ保護者も存在するが、批判的な意見にも反論するのではなく、まずは話をしっかり聞き、誠意をもって話すことを心がけたい。	・不登校・気になる生徒など、難しい問題ではありますが、保護者とも連携して、これからもよい方向に取り組みを進めて頂ければと思います。 ・長年、志和池中近くに住み、生徒たちの様子を見ているが、特に問題になるような事例にはあわなかつた。 ・生徒たちの健やかな成長を温かく見守ってきたいと思っています。 ・身だしなみやあいさつなどとても良くできていると思う。引き続き指導してもらいたい。不登校については踏み込んでいけないうちの難しい部分もあるが徹底して対策して欲しい。	3.2